



clarion

車載用TVダイバーシティアンテナ (地上デジタルTV用フィルムタイプ) ZCP-120 ZCP-122

取付説明書

このたびは、クラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 取り付けおよび結線を行う前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。
- 後日のために取扱説明書とともに大切に保管してください。

本品はクラリオン製地上デジタルTVチューナーおよびAV-Naviシステム用地上デジタルTVアンテナです。

※以下のモデルには接続できませんのでご注意ください。

・DTB160 ・DTX760

アンテナ構成部品について

※同梱されているアンテナ数量は、ご購入の機種により異なります。アンテナ部品の構成内容をご確認をお願いします。

ワンセグ対応機器：ZCP-120
地上デジタルTV（フルセグ）対応機器：ZCP-122

仕様

- ZCP-120 (アンテナ(L)1本：ワンセグ対応機器用)
 - ・総合利得：11dB
 - ・周波数範囲：470~770MHz
 - ・出力インピーダンス：50Ω
 - ・貼り付け場所：フロントウインドウ(車内側)
 - ・質量：約70g(取付説明書以外の合計)
 - ・電源電圧：DC8V
 - ・消費電流：30mA

- ZCP-122 (アンテナ(L)2本 アンテナ(R)2本：地上デジタルTV(フルセグ)対応機器用)
 - ・総合利得：11dB
 - ・周波数範囲：470~770MHz
 - ・出力インピーダンス：50Ω×4
 - ・貼り付け場所：フロントウインドウ(車内側)
 - ・質量：約180g(取付説明書以外の合計)
 - ・電源電圧：DC8V
 - ・消費電流：30mA×4

クラリオン株式会社

本社事務所
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：**0120-112-140**

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	TEL
製造番号	

*お客様へ…ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in Japan 2010/4 274-0146-00

ご使用になる前に

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用および取付・結線作業の前に以下のご注意とこの「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業してください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

取付上のご注意

警告

- フロントウインドウ以外には貼り付けしないでください…リアウインドウなど、ガラスにプリントされている熟線、AM、FMアンテナの上に本アンテナを貼り付けると熟線が切れたりガラスが割れる恐れがあります。

- ケーブル類は、取付方法の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく…ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

注意

- 必ず付属の部品を指定通り使用する…指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。

- 正規の接続をする…火災や事故の原因となることがあります。

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

- アンテナおよびケーブル類は確実に固定する…外れて事故や怪我の原因となることがあります。

- 天気の良い日中に取付ける…雨、霧など湿度が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

- 取付後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)にあてたり、無理な力を加えない…両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

- 気温が低い時は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにするなどしてフロントウインドウを暖める…両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

- ケーブルクランパーの両面テープは、指でさわったり貼り直したりすると、接着力が弱まるので、取扱いには十分注意する…両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

- 貼り付ける前に、付属のクリーナーでフロントウインドウの汚れを十分に落とす…アンテナがガラス面に貼り付かなくなります。

- アンテナ貼付直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きかけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、柔らかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。

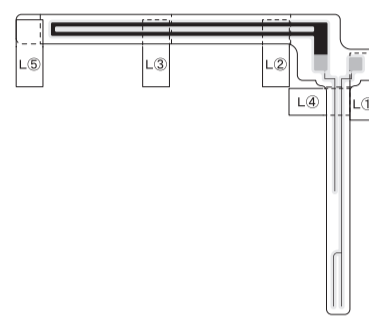
- お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかかないようご注意ください。

アンテナ構成部品

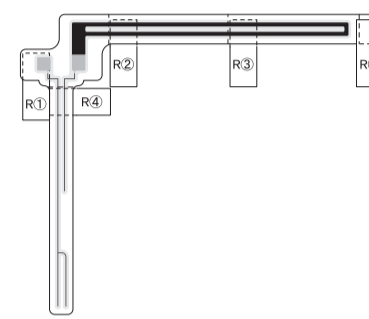
- ・ ZCP-120 (アンテナ (L) 1本：ワンセグ対応機器用)
- ・ ZCP-122 (アンテナ (L) 2本 アンテナ (R) 2本：地上デジタルTV(フルセグ)対応機器用)
- ・ ZCP-121 (アンテナ (R) 1本：補修用アンテナ用)

部品構成	ZCP-120 ワンセグ用	ZCP-122 地上デジタルTV (フルセグ)用	ZCP-121
①フィルムアンテナ(L)	1	2	×
②フィルムアンテナ(R)	×	2	1
③アンプホルダー	1	4	1
④アンテナケーブル (4m)	1	4	1
⑤ケーブルクランパー	3	8	3
⑥クリーナー	1	2	1

①フィルムアンテナ(L)



②フィルムアンテナ(R)



③アンプホルダー



④アンテナケーブル (4m)



⑤ケーブルクランパー



⑥クリーナー



⑦取付説明書 (本紙)

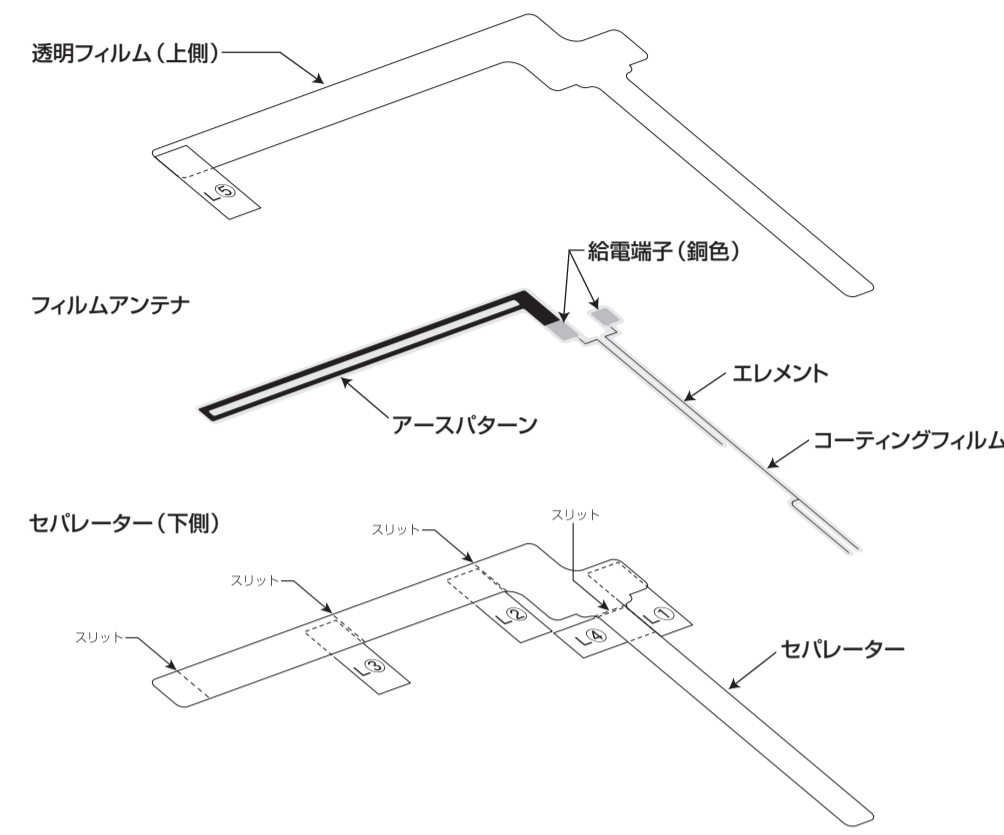


フィルムアンテナの構成

- イラストは、フィルムアンテナ(L)です。フィルムアンテナ(R)の形状は左右対称です。(タグ表示がLからRに変わります。)

- フィルムアンテナは、透明フィルムとセパレーターの間に挟まれています。

- エレメントの銅色部が給端子です。



取り付けのご注意

- 車種によって、取り付けられない場合があります。

- ・ 熟線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。最寄りのディーラーにお問い合わせください。

- 車種によっては、フロントピラーやサンバイザーを取り外すと作業が容易に行える場合があります。なお、フロントピラーにエアバックが装着されている車両は、フロントピラーを取り外さないでください。

- フロントウインドウの指定位置・寸法内に貼り付けてください。

- ・ 本商品は**フロントウインドウ専用**です。それ以外の場所(リアウインドウなど)には貼り付けしないでください。

- ・ 保安基準*に適合させるために、本書の「貼付位置について」および「貼付許容範囲」をよくご覧になり、正しく貼り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

* 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付の運輸省(現、国土交通省)令第95号をいいます。

- アンテナを接続する機器の取付説明書も併せてご覧ください。

準備するもの

次のものを用意してください。

- ・ 樹脂ヘラ
- ・ マスキングテープ
- ・ ハサミ
- ・ やわらかい布など

貼り付ける前に

本紙は左側(フロントピラー・フルセグ)の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。

1 フロントウインドウの汚れを落とす

- 1 フロントウインドウ(内側)のフィルムアンテナを貼り付ける場所を、付属のクリーナーで拭いて十分に汚れを落として乾かしてください。

- ・ 貼付面が完全に乾いていない状態では貼り付かない恐れがあります。フィルムアンテナ・アンプホルダーを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。

- ・ フィルムアンテナ・アンプホルダーを貼り付ける面が油分等で汚れていると貼り付きません。また、冬場など気温の低いときは、デフロスター・ドライヤー等でガラス面を暖めてから作業を開始してください。またフィルムアンテナ・アンプホルダー自体も暖めてください。

- ・ ワンセグモデルのアンテナ貼り付け推奨位置は、フロントピラー(左)となります。

貼付位置について

- 運転に安全な視界を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず、下図の「貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。（左右逆に貼り付けしないでください。）
- アンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。
- アンテナは、車検証・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。
- アンテナは、ETC受光部、他のTVアンテナなどから20mm以上離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン内に貼り付けしないでください。ショートなど、故障の原因となります。

貼り付け手順

本紙は左側(フロントビラー)の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。


2 フィルムアンテナ・アンプホルダーの貼付位置を決める

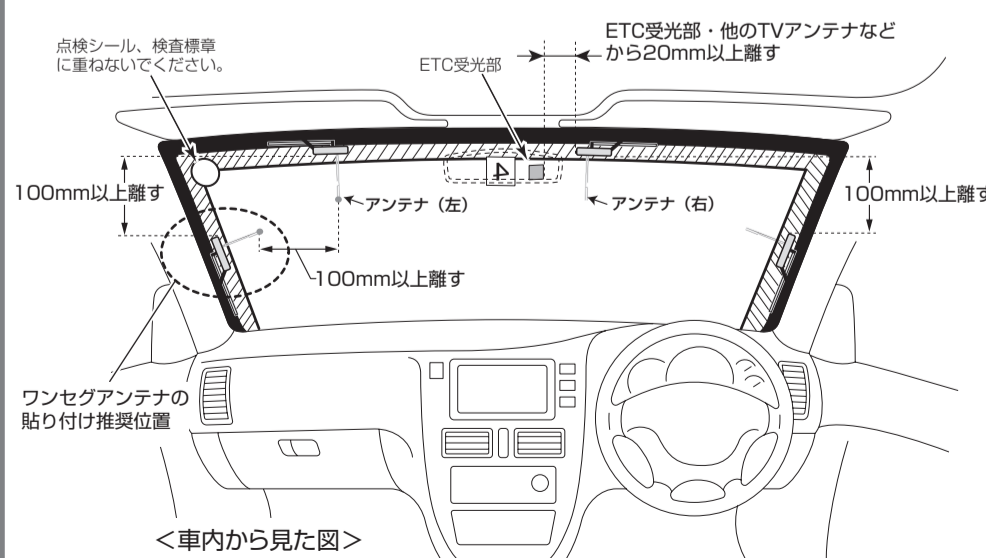
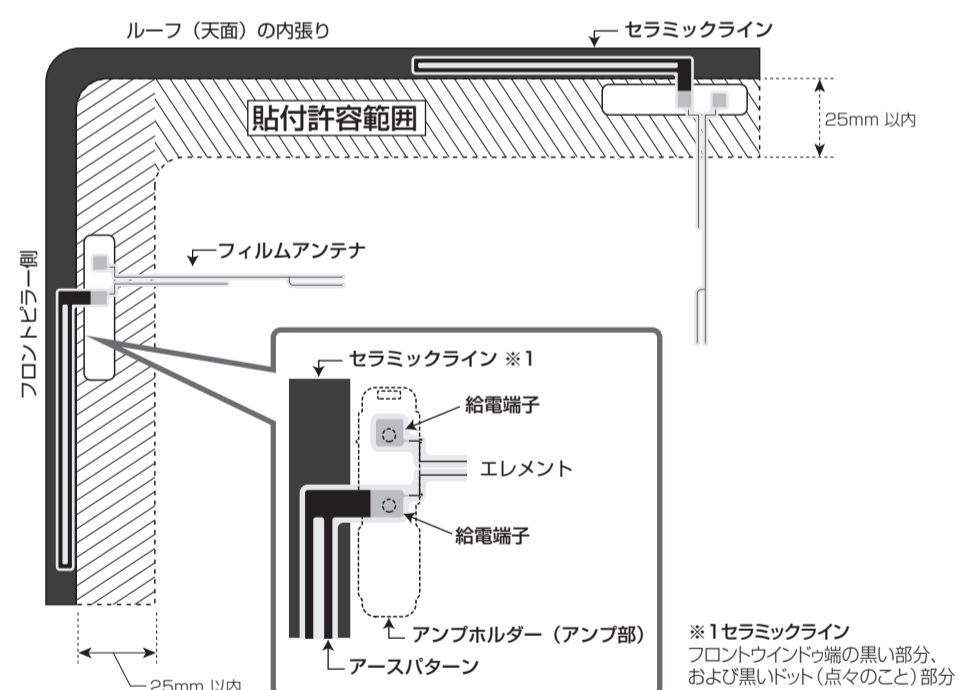
- 1 フィルムアンテナ・アンプホルダーの貼り付け位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。
- 2 マスキングテープなどでフィルムアンテナおよびアンプホルダーを仮固定し、車内の内張り(フロントビラーなど)に当たらないことを確認してください。
- 3 ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

ご注意

- ・フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。

貼付許容範囲

- フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン上または、内張りに重ならないように必ず貼付許容範囲内( 部)に貼り付けてください。
- アースパターンは、セラミックライン上に貼り付けても問題ありません。
- 貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

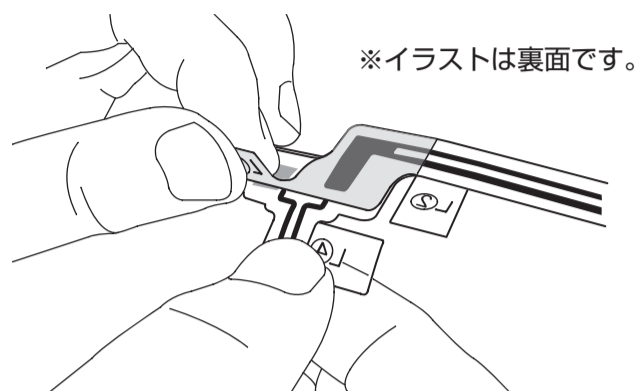


3 フィルムアンテナを貼り付ける

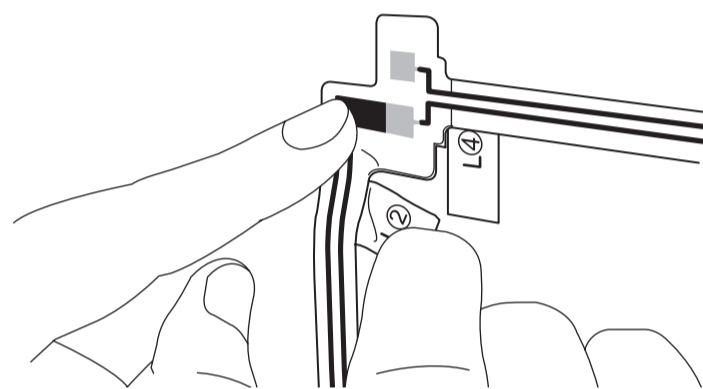
- 1 L①のタグを持って、セパレーターをはがし、決めた位置に貼り付けてください。

ご注意

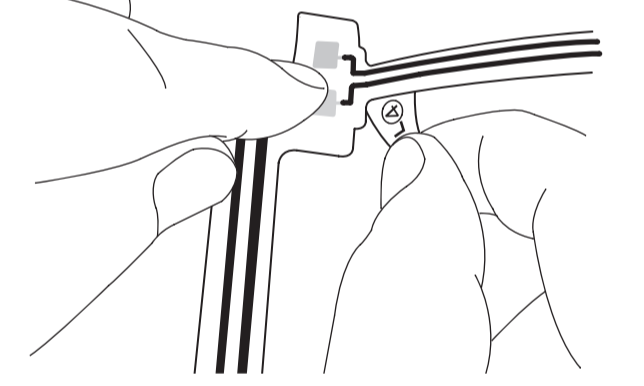
- ・フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損する恐れがあるためお止めください。
- ・本品は、ドライ貼り付けタイプとなっているため、霧吹きなどで吹き付けて貼り付けしないようにお願いします。



- 2 L②L③の順にタグを持って、セパレーターをはがし、アースパターン上をなぞるように指で軽くこすってください。



- 3 L④のタグを持って、セパレーターをはがし、エレメント上をなぞるように指で軽くこすってください。



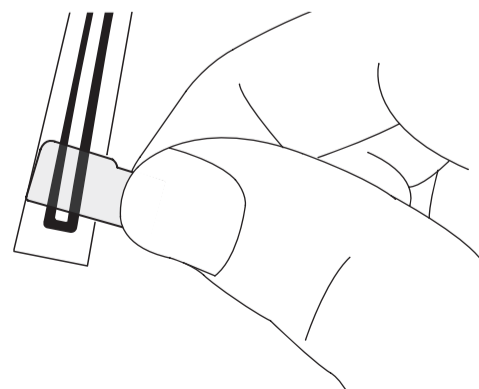
- 4 最後にフィルムアンテナ全体をなぞるようにやわらかい布や樹脂ペラなどを使用して、ガラス面に密着させてください。

ご注意

- ・加圧が不足していると透明フィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線する恐れがあります。また、樹脂ペラを使用する場合、エレメントを傷つけないよう十分注意して作業を行ってください。

4 透明フィルムをはがす

- 1 L⑤のタグを持って、透明フィルムをはがしてください。フィルムアンテナが貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりと丁寧にはがしてください。



ご注意

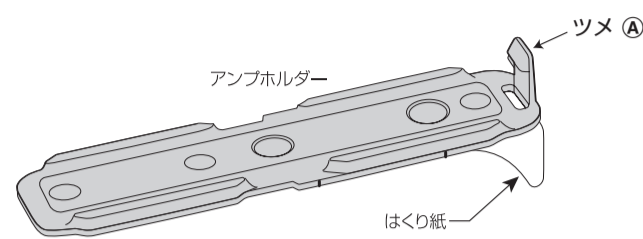
- ・透明フィルムをはがした後は、給電端子に手を触れないでください。汗などの汚れで接触不良の原因となります。

5 アンプホルダーを給電端子部に貼り付ける

ご注意

- ・アンプホルダーの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損する恐れがあるためお止めください。
- ・貼り付ける前にアンプホルダーの向きに注意してください。下図のイラストを確認してから貼り付けてください。

- 1 アンプホルダー裏面のはくり紙をはがしてください。



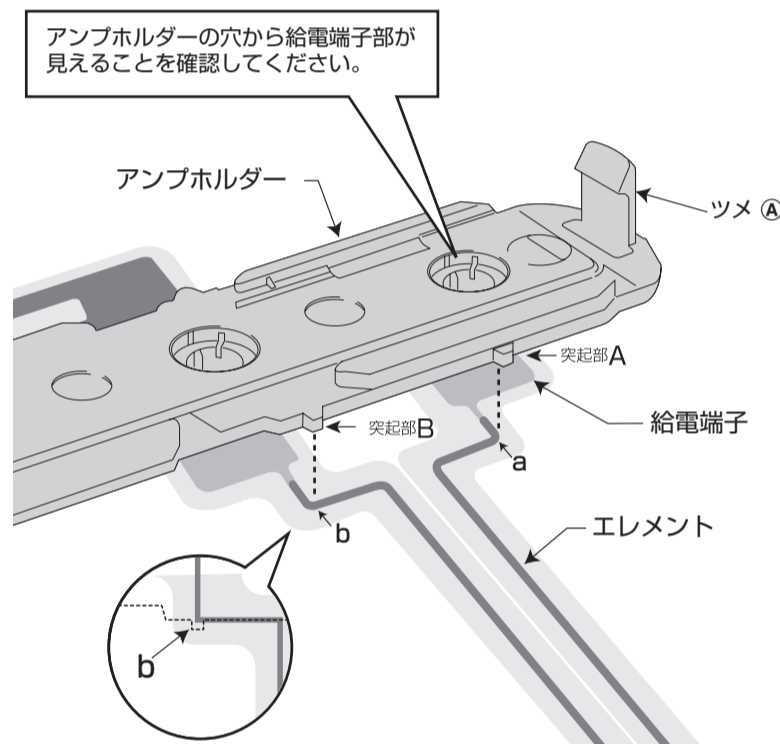
- 2 給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。

- ・アンプホルダーにある突起 A、B とエレメントの a、b が重なるよう平行にアンプホルダーを貼り付けます。

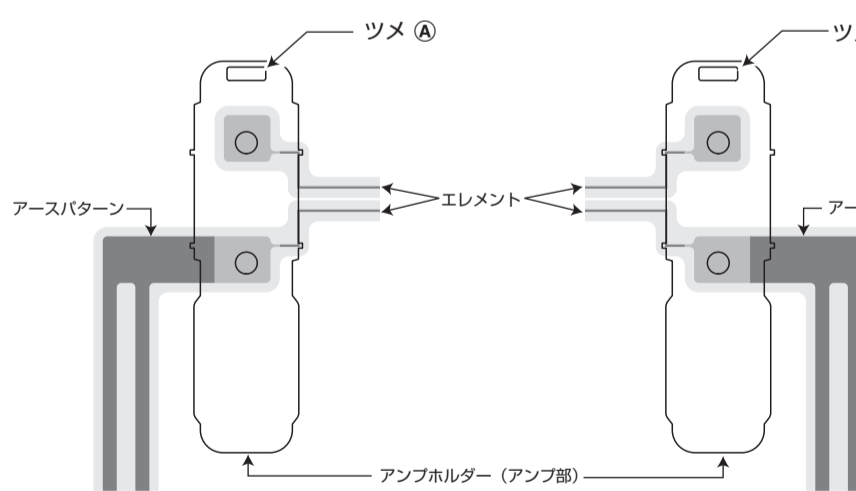
ご注意

- ・浮きがないように強く押しつけてください。また、フロントガラス外側からガラス面に密着されていることを確認してください。

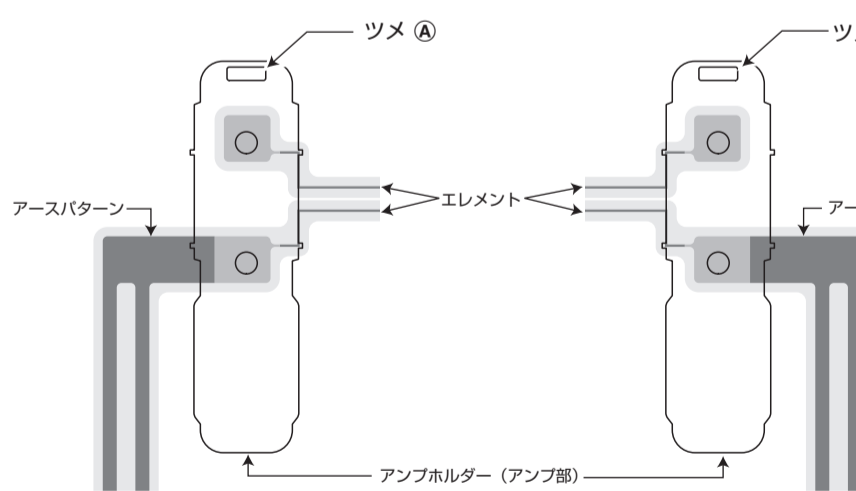
■ 左側(フロントビラー)取付



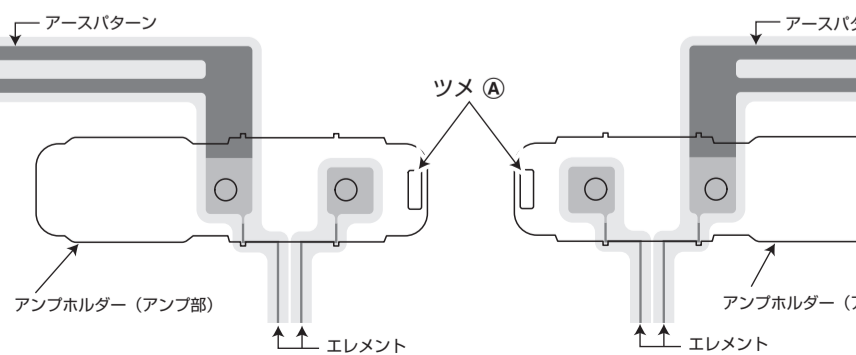
■ 左側(フロントビラー)取付



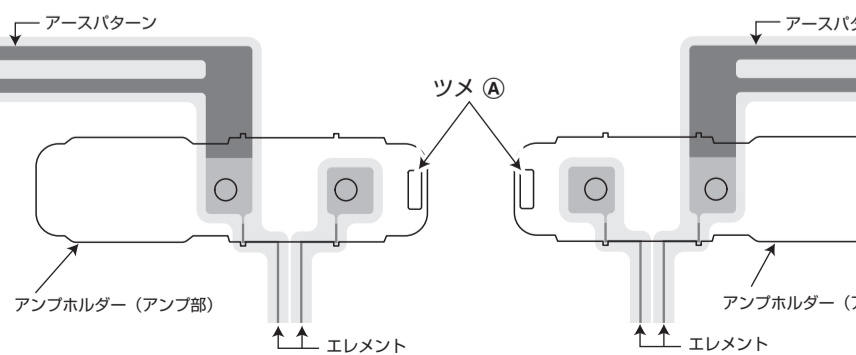
■ 右側(フロントビラー)取付



■ 左側(ルーフ)取付



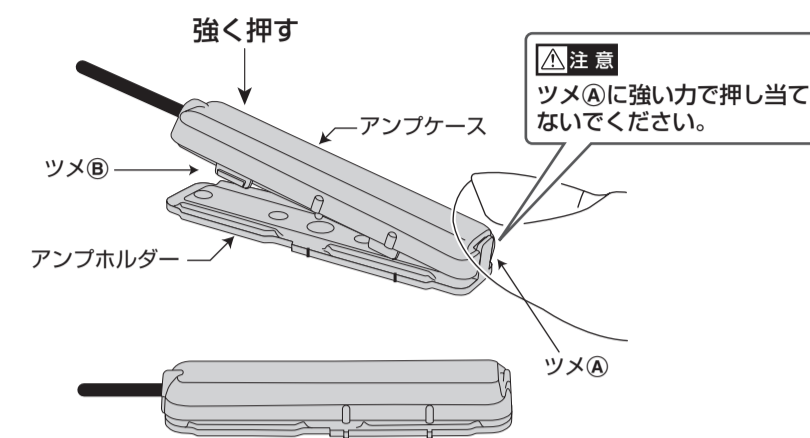
■ 右側(ルーフ)取付



6 アンプケースをアンプホルダーに固定する

- 1 アンプホルダー側面のツメ(A)を支点に指で押さえながら矢印の方向に強く押しつつツメ(B)をロックしてください。

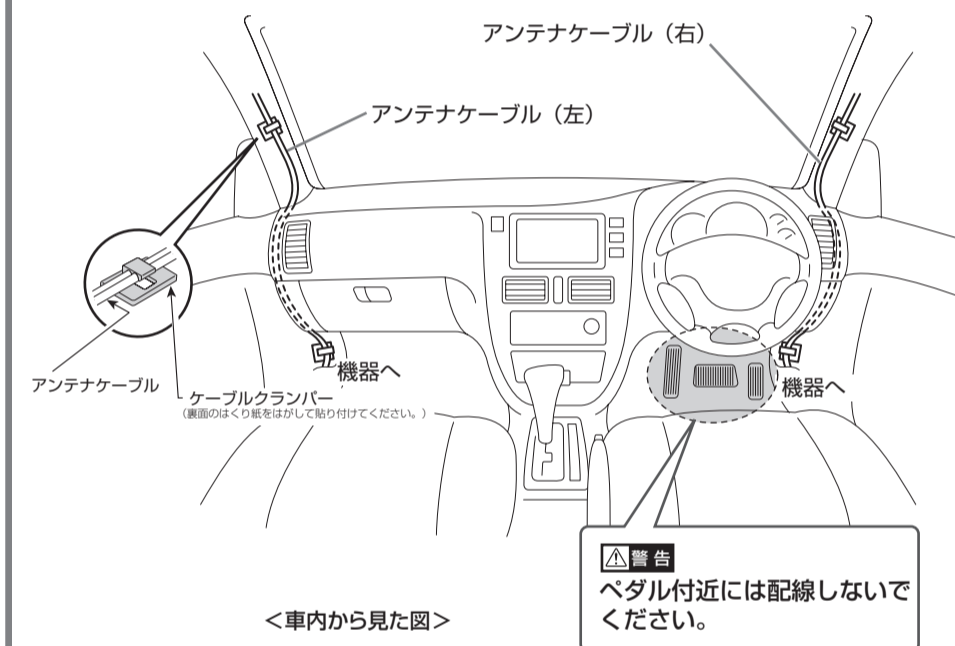
- ・アンプケースを押し込む際は、「カチッ」と音がすることを確認して、浮きがないように取り付けてください。



7 アンテナケーブルを固定する

- 1 ケーブルクランパーで固定しながらケーブルの配線を行ってください。

- ・アンプ部に負荷がかからないように、アンプ部を押さえながら作業を行ってください。



△警告

- ・フロントビラーにエアバックが装着された車両には、エアバック動作の妨げとならない位置へ配線を行ってください。
- ・運転の視界を妨げないように、ケーブルを配線してください。
- ・ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。その際ケーブルは、曲げ部がφ14mm(曲げR7mm)以上となるようにまとめてください。
- ・アンテナケーブルをビラー内などに押し込む場合は、樹脂ペラなどを使用してください。(先端部分が鋭利な工具などを用いて強い力で無理に押し込むとアンテナケーブルが破損(断線)する可能性があります。)

8 アンテナ端子を接続する

- 1 アンテナ端子を機器のTVアンテナ端子へ接続してください。

- ・接続する機器の説明書も併せてご覧いただき、正しい位置に接続してください。TVアンテナ入力端子はロック付きです。端子を機器から外す際は、ロック部を押しながら外してください。

ご注意

- ・アンテナ貼付直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きつけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、柔らかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
- ・お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかかないようにご注意ください。

